

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく実行団体公募

2019年度 実行団体の公募結果

弊財団が行なった「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく実行団体の公募に対して以下の通り 50 件の申請がありました。

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人ここなら	奈良県葛城市	無関心を関心に 愛あるおせっかいピトで孤立ゼロへ	<p>困った時やしんどい時の SOS が出せる場所として、地域 café を開業します。様々な過去経験者や専門分野の方と連携を取り、誰もが気軽に相談することができる場所で、直接的な相談がしんどいようであれば、メッセージカードによる受付も行き、内容によって、適切などころへお繋ぎし、少しでも早く安心して生活していただけるようにしたいと考えます。</p> <p>また、社会的弱者が地域から孤立してしまう要因の一つとしてあげられる「地域の無関心」を払拭すべく、「愛あるおせっかい」で「困っている人がいたら助けよう！何とかしよう！」と思う人が地域に増えるよう、官民連携の人財育成の場とします。</p> <p>最終的には、日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する方々の素敵な特性を最大限に引き出した店舗のサービスとして随時追加していくことで、働く場所となり地域とつながるきっかけ創りを目指します。</p>
NPO 法人プラス We	大阪府箕面市	障害者市民の地域でのくらしバックアップ事業	<p>2020年～2021年度にかけて障害者市民の地域生活における課題をテーマに学習会を全4回行い、地域生活を阻む様々な要因を、多くの市民や関係者に知らせ、課題を共有し解決の糸口を探ります。また障害児(者)やその家族に情報を届けることで、より良い選択を可能にします。</p> <p>また、現状不十分である障害者への災害時の対応について、広域のボランティアではなく、箕面市内に活動を限定し、顔の見える関係づくりと人材派遣の支援をします。災害の発生に備え、災害時のボランティア研修を実施し、地域の様々な団体へ研修受講の働きかけも行い、箕面市の障害者への災害時の支援体制を進めることを目標に、物資の購入と仕組みづくりを行います。</p>
株式会社クローバー	滋賀県長浜市	就労訓練事業所(Nagahama Job School)の開設	<p>滋賀県長浜市において、生活困窮者、生活保護者、元受刑者、ひきこもり、ニートなど様々な課題を抱える人の働くことを支援するために、就労訓練事業所を開設します。就労訓練を行う中で、当事者が他者とつながり、人との関りによって自己肯定感を高め、地域住民、地域企業、各連携機関ともつながり地域社会全体で支援できる体制を作っていきます。</p>
特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会	和歌山県和歌山市	生活困窮世帯等の子どもの学習支援及び居場所づくり事業	<p>生活困窮者世帯やひとり親家庭など、家庭での学習環境や食事を含む生活環境に恵まれず孤立する子供(小学校中学年以上中学生等)に対して、学習支援をする事で学びに習慣を促すとともに簡単な食事を提供できる居場所をつくる事。又、子供の親や子供に対して臨床心理士や公認心理師が心のケアをする事で「いじめ」や「不登校」を防止する支援を行うことを目的としています。対象の子供である、小学校中学年から中学生は、学童や若者支援などの事業の対象から外れ支援の狭間にいるため、現状は支援を受ける事が難しいので、既存の関連事業や子育て支援団体や発達障害児等の学習支援を行う団体をはじめ、関連事業に横串をさす形で継続的に実施したいと考えています。</p>
一般社団法人日本ケアユニオン	奈良県奈良市	笑顔で、はたらく。一緒に、暮ら	<p>まず一つに、身体障害者を持つ方が尊厳を持って暮らせる小規模な場を整備し、働くモチベーションをサポート</p>

		す。自然と、安心。を広げる	して行きます。似た境遇の利用者同士が一人で悩まない環境を作ります。 また、障がい者を主な構成員とする会社を創造し、現行の就労支援の作業所より高い給与を支払います。その為にコンピューター活用スキルを身につけチームでお互いに支え合いながら収益を上げる体制を維持します。 最後に、障害の有無に関わらず不特定の人に利用可能なカフェを市街地に設け、人と人をつなぐ場の提供をします。ここでは何気ない会話から段階的に他者との共存を図る事ができる場を目指します。
Team Norishiro	滋賀県東近江市	「働く」をアイテムに孤立状態の人と地域をつなぐ	当団体は、引きこもりなど孤立した人（働きもん）は課題でなく、地域の資源（宝もん）と捉え、地域課題を解決したり、地域資源を生かしたりする地域に根差した働くステージを企画・運営して、人口急減・超高齢化する地域社会の変革に挑みます。 本事業では、年齢、経済条件、福祉制度などに関係なく、引きこもっているなどの孤立状態にある人すべてを対象とします。東近江圏域働き・暮らし応援センター、TeamKonQ（困救）と連携して、支援の入口として相談でなく、継続的な働くステージ（中間的就労の場）を提供します。このために、地域の未利用資源を活用した薪の生産とリサイクル着火材づくりを事業統合し運営体制を整え、生産基盤も整備して、事業継続の基盤を整えます。この働くステージを通し、孤立した人は、地域とつながり、地元企業で働く力や地域で暮らす力を育みます。地域は、担い手不足という地域課題を解決して、包摂的成長を促進できます。
一般社団法人 犯罪被害者の会 つなぐ会	兵庫県神戸市	地方自治体に「犯罪被害者支援のための条例制定」活動	これまでの体験から条例の立法化は、地元議員、首長の理解なくしては実現しない。票にも、利益にもつながらない条例の制定は困難。被害当事者である私たちが粘り強く訴えかけないと難しい。しかし、この作業を続けないと条例は制定されないまま、時が進む。条例のある自治体とない自治体の住民に格差が生まれるという新たな問題も 京都アニメーションの事件で証明された。
認定 NPO 法人 D×P	大阪府大阪市	困難を抱えた高校生に卒業後も続くつながりをつくる	当事業の目的は、定時制高校に通う高校生が卒業後もつながりを得られる状態をつくることです。貧困、ネグレクト、不登校、発達障害など様々な社会課題の複合的要因により、人(特に大人)に対する不信感や仕事へのネガティブイメージ、将来に対する失望感を抱える 10 代が対象です。そういった 10 代が集まる定時制高校で、学内で多様な大人と関わる居場所をつくり、学外で多様な仕事体験ができる機会をつくります。1 居場所事業:定時的にオトナと関われる場(カフェや進路相談など学校により形態は異なります。) 2 授業:社会人ボランティアと関わる計 4 回の授業 3 仕事体験:学外での仕事体験、の 3 つを提供します。1~3 を通じて 1 人の生徒が 10 人以上のオトナと、複数回長期間に渡って関わることで社会関係資本が形成されます。それを土台に、卒業後の進路に向けて前向きに行動ができるよう生徒の気持ちの変化や具体的行動をサポートし伴走します。
認定特定非営利活動法人 コムサロン 21	兵庫県姫路市	ひきこもり居場所の中間支援と支援者養成事業	兵庫県域で 5 万人以上いるといわれているひきこもり状態の若者・中高年者に対する精神的、社会的自立に対する支援は、まだまだ、行政としても対応が不十分で、8050 問題に顕われているように、増加しより深刻化しているのが現状です。 ひきこもりの主な要因は家庭問題にあると考えられていますが、その解決方法をその家庭に求めることは難しく、居場所の必要性が問われています。現在、いくつか生まれつつ居場所も環境やスキルも異なり、そのネットワークづくりとスキルアップの支援が重要と考えています。コムサロン 21 の 29 年間の地域活動における組織的・人的ネットワークを活用し、ひきこもり団体のネットワークの構築と、支援者のスキルアップの支援を担うことによって、脱・孤立、誰もが夢と生きがいをもてるまちづくりに貢献して参ります。
愛東の暮らし・つながり創造会議	滋賀県東近江市	店舗再生を核とした持続可能な地域課題の解決	愛東地区（旧愛東町）は、2005 年の市町合併から 20%の人口減少となっている。このことは、一人暮らしや高齢者世帯の増加と、暮らしの様々な困りごとの増加につながっている。また、地域の宝である子供や若者の中には、家庭や学校、職場環境等から引きこもりやニートになり、地域や社会から孤立する人が増えている。

			<p>こうした状況下で、愛東地区で唯一のスーパーマーケットが経営者の高齢と後継者不在から、消費税増税を前にやむを得ず閉店された。住民にとって一層生きづらさが増す結果となっている。</p> <p>この危機感を認識する愛東地区の団体や事業者、有識者が「愛東の暮らし・つながり創造会議」結成して課題を整理し、解決に向けて検討を重ねてきた。その結果として、閉店した店舗を再興し店舗の経営を行いながら、店舗を核として新たな地域コミュニティの構築を図り、住民が行き来する場で生きづらさを抱える子どもや若者、高齢者などが孤立や貧困からの脱却を図る支援を行うため本事業を実施する。</p>
就労開発研究会	京都府京都市	就労開発フォーラム	<p>現在「就労支援」の分野では様々な課題を持つ当事者に対し、国や行政機関が定める法律や制度に基づく支援が行われている。しかしながら、現代社会の変化スピードや激しさが増し生き方の多様性が広がったことで、働くことに制限のある方やその方の課題が、制度や支援の狭間に陥って、至るべき支援にたどり着けていない事例や必要な支援が受けられない懸念も広がっている。本事業では、既存の就労支援をベースとし、就労支援の現状と課題を共有し、次の時代を支える就労の在り方を考え、支援の仕組みの飛躍的な向上を目指す。</p> <p>そのために、各就労弱者の課題と実践を共有するフォーラムを行い、事例と手法の更新と普及を図る。さらに、多様な課題や状況に対応するべく、キャリア開発の視点を持って就労支援を行う「就労開発」をサポートするコンサルティングサービスと連動し、事例の共有が「いい話」で終わらぬよう類似課題を抱える支援者に対する支援を行う。</p>
NPO法人生活の発見会	東京都墨田区	不安症に悩む人々に集談会と森田理論で繋がりをつくる	<p>当会は神経症を中心に生きづらさ、社交不安障害などで、社会に出ていくのが怖いもしくは社会に出ていけなくなった、というような方に森田療法を学習したりすることで、生きる力を育み、不安はありながらも不安はあってもいいんだという考え方です)社会に出ながら回復を図っていこうというものです。 当会の組織の充実を計るとともに、さらに趣旨を社会にPRしていきたく存じます。 活動の柱は 1. 学習活動(集談会や各種学習器材の提供) 2. 機関誌の発行 です。</p>
特定非営利活動法人グローバル人材開発センター	京都市上京区	Anonymous Heros	<p>1 現状の雇用システムにうまく適応が出来なかった人々に対し、多様な働く「選択肢」を提供すること。具体的には、複業、非正規雇用、テレワーク、クリエイティブワークなど、デジタルが発達するようになり、既存の産業構造では、市民権が得にくかった働き方にも光をあてる。 2 多様な働き方に対する理解の促進とロールモデルの掲示、また、それらの受け入れに柔軟な企業グループを発し、つながるチャンネル(コミュニティ)を拡大すること。 3 本事業に関わる人と共に、新たな概念を生み出し、立から解放されていく人を増やすこと。</p> <p>実施内容 1「働くこと」に関わる孤立に関する仮説検証のための調査 2 オンラインコンテンツの開発、運営 3 孤立の解消に係る人材育成プログラムの開発、運営 4 報告会の企画運営</p>
NPO 法人 Silent Voice	大阪府大阪市	日本の IT 人材不足を聴覚障害者が救う	<p>就労や教育の場面で、相手の声が聞こえないという聴覚障害者の孤独は、仕事のパフォーマンス、働くことへの意欲、成長の面で非常に大きな壁になっている。しかし、チャットでのコミュニケーションなどの登場によってその壁もオフィスワーカーの間では徐々に壊れ始めている。特に IT 業界においては新しいツールの導入も早く、劇的に聴覚障害者の働く現場を変えている。IT 人材不足を抱える日本社会に、スキルの高い聴覚障害者を戦力として送り込む流れを私たちは作りたい。聴覚障害者に特化した IT スキル学習・聴者との協働スキル獲得のための施設を運営する。障害者雇用率未達/IT 人材不足の企業に対して戦力としての雇用を生み出す手伝いをする。利用者について聴覚障害者のみを対象とし、条件該当者には障害福祉サービスの自立訓練 を適用し安価でのサービス受講可とする。非該当者は、プログラム受講従量課金型・コワーキング利用月額型を選択することができる。</p>
認定非営利活動法人つどい	滋賀県長浜市	あいのたに 100 JOB	<p>廃屋となっている長浜市布勢町木工所跡地、下茶屋一帯の棚田(3.2Ha)の保全を含め元々の門前町(約470年前、戦国時代織田勢焼き討ちにて滅んだ)を復活する。180㎡の建物に、様々な社会とつながりにくい人の居場所の空間</p>

			<p>を創出する。2019年建物の一部(36㎡)を高齢者の居場所として内装改修バリアフリートイレを整備した。今回申請事業により老朽化の進んだ屋根外壁等空間・駐車場整備の改修工事を行う。</p> <p>施設は「あいのたに」花蓮農園と隣接しており花蓮開花時には見学者も多い。今回事業で芝桜を植栽することにより見学者の時期が現在の6-9月から4-9月に伸ばすことができる。観光だけでなく6次産業の花蓮加工品の開発・販売を進めている。中山間地に人が行き交い、大地からのエネルギーを循環させる農業テーマパークを創る。一年中の仕事ができるように「長浜煎餅堂」を継承し経営の安定化をはかる。2年後にはロータスカフェの開設をする。</p>
京都高齢者地域福祉ネットワーク株式会社	京都府京都市	私の居場所 ここにあり	<p>① 生活相談の窓口開設と個別訪問の取り組み</p> <p>② 居場所作り(創作活動*個人のしたい事への取り組みときっかけ作り)</p> <p>③ 日替わりカフェの運営(*一部就労継続B型事業)</p> <p>④ 自然食品販売及びアグロエコロジー農家から直送の無農薬野菜や有機野菜などの販売(*一部就労継続B型事業)</p>
immi lab (イミラボ)	滋賀県草津市	在住外国人の医療格差是正とコミュニティ創生事業	<p>immi lab (イミラボ) は日本で暮らす「外国人」(以下「移民」)の人としての権利を守るため、ヒューマンセンターデザイン(HCD)を活用し、移民の実際の声に重きを置いたサービスやプロダクトの開発・展開を行う。本申請事業では、言語・文化の違い・金銭などを理由に既存のシステムから疎外されることが多く、不安を抱えている移民の医療・保健にまつわる課題に取り組む。18ヶ月間の事業で目的とするのは、1.「医療」を取り巻く環境での移民の課題に対する解決策プロトタイプと、2. 包括的な「健康(ヘルス)」をテーマとした移民らのコミュニティ作りである。immi lab は、これまでソーシャルビジネスやNPOを通して社会課題の解決に取り組んできたメンバーひとりひとりが、クリエイティブと社会課題解決の交わる分野で活動してきた経験を活かし、特別な思いを抱いている移民の課題に取り組むための団体である。</p>
特定非営利活動法人二求の塾	兵庫県神戸市	対話を通して引きこもりから脱却する力を身につける	<p>当法人は主に兵庫県の阪神間のみの活動で、10~20代の不登校や引きこもりで悩み、社会に生きづらさを感じている若者たちを支援していました。助成プログラムを活用してカウンセリング事業を拡大し、「ハートケアフレンドセンター」を増設します。活動を近畿エリア全体に広げ、既に各地域で支援活動を実施している民間団体や行政と協力し、10~40代の引きこもりと家族への訪問支援(もしくはビデオ通話、電話)、また引きこもり当事者と家族の交流会及び専門家と支援団体を招いての理解と支援の輪を広げるシンポジウムを行います。引きこもりになった原因を当事者同士やカウンセラーとの対話や手記を通して言語化し、自分の過去や性格、気質を整理します。引きこもりで悩む人たちが自分のしたいことやできることを見つけ出し、具体的な計画を組み立て社会から孤立している状態を解消して働くことの意欲が回復するようにサポートします。</p>
一般財団法人ヒューマンライツ協会	大阪府大阪市	情報化社会から「誰一人取り残さない」まちづくり	<p>・低所得・高齢化が進む西成北西部の公営住宅は、インターネットやスマホ・タブレットの使用率は低い。</p> <p>・情報化社会から取り残されるのみならず、ICTを活用した見守り事業やキャッシュレス決済を活用した経済対策など、各種政策からも実質排除されている状況。</p> <p>・当法人等が自治会業務支援を実施している公営住宅から合意を得られた棟を対象に、モデル事業として、下記の事業を実施することで、情報化社会から「誰一人取り残さない」まちづくりにつなげ、生活相談・サークル活動などの顔の見える場でもある隣保館&コミュニティカフェと両面からアプローチする。</p> <p>①公営住宅に無線タイプのFREE_WIFI等を設置</p> <p>②スマホ・タブレット媒体を各家庭に配置</p> <p>③スマホ・タブレット講座を開催し、スキルを身につける</p>

			④スマホ・タブレットを活用した見守りや生活支援サービスを展開
特定非営利活動法人 ふーどばんく OSAKA	大阪府堺市	活動拠点でパントリー事業を構築し人材育成に取り組む	<p>現在、特定非営利活動法人ふーどばんく OSAKA として堺市に拠点を置いて活動していますが活動をスタートして6年、食品回収や提供など大幅に増加し1拠点で対応することはもう限界にきています。今回、大阪府北部に拠点を設置することで、本部機能と同じ機能を持つことが可能となり、今迄行き届かなかった支援が効率的に行なわれることをめざします。</p> <p>具体には</p> <p>① 活動拠点（サテライト）の構築 フードバンク活動を行なう拠点を大阪府北部に設置、食品の回収、配送などを行ない地域の支援団体や行政と連携することで「貧困」「孤立」を解消する活動に取り組めます。</p> <p>② パントリー事業の展開 「子ども食堂」「自立支援相談窓口」「各種施設」など食品（支援）が必要な団体や人に対し常時食品を提供できる拠点を構築することにより緊急時にも対応。</p> <p>③人材の育成 働くことが困難な人や社会的孤立をしているを支える職場としての位置づけを行なうことにより社会参画を体験しさらにそれらを支える人材を育成することで自分らしい働き方を提案し安心して地域で働くことが出来る活動を行ないます。</p>
認定特定非営利活動法人ソーシャルデザインセンター淡路	兵庫県南あわじ市	誰もが役割のある社会の創成	<p>地域の多様なステークホルダーがそれぞれの縦割りを超えて横断的につながる社会づくりを目標に、次のような事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携して「働く場・学びの場」の拠点を、地域住民も巻き込みセルフビルドで建設する。なお、企業との協働事業によって、SDG'sが目指す“誰もが役割のある社会”作りの実践例とする。 ・就労弱者も等しく参加できるような多様な仕事を創出する。そのカギとなる新たな「ジョブパートナー®️」という仕組みと、運営法を確立し、その制度化へ向けた提言書を兵庫県に提示する。 ・現在の学習制度に適合しにくい“不登校児童・生徒、ひきこもり等”の人々が、自ら望んで参加できる、インクルーシブな本来の「フリースクール」を開設する。 ・そのスクールは、①自然との共生を学ぶ「科学知セミナー」、②個々人が活かされる社会のあり方を学ぶ「社会知学習塾」、③人の生存・生活に関するモノづくりを体験し、その意味と手法を深く学ぶ「生活知ワークショップ」から構成される。それらが総合されて、“人が生き、暮らし、持続”していくための「知の体系」のプログラムを実践を通じて確立する。
国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター	大阪府大阪市	若年者層を対象とした SNS 自殺防止対策相談事業	<p>1、日本の自殺者数は約2万人で総数としては減少傾向にありますが18歳未満では増加傾向にあります。若年者層の通信手段 SNS を通じた相談活動をしているところは各地で立ち上がりつつありますが、まだまだスタートラインについたばかりで絶対数が足りません。若年者層を対象とした自殺防止対策の一環として SNS を通じた相談活動を計画しています。パソコンを数台(3~4台)設置して無料アプリ LINE(日本での契約件数 約8千万人を超えていると言われてる)を通じて、若年者層の生き辛さの気持ちを傾聴しその声に応答します。若年者層の方に対して安心して話ができる場所のひとつとしてこの場所を作り提供したいのです。スタート時点では、週に1回4時間程度、3~4人体制で始めたいと考えています。</p>
一般社団法人 日本アルバムセラピー協会	大阪府大阪市	アルバムセラピー協会事業（セラピスト養成）	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバムセラピーによって、人々の心のケアをし、社会課題を解決する。 ・アルバムセラピーを開催できる講師＝アルバムセラピストの育成。

			<p>・アルバム＝思い出の中を人の心の中に在る感情を1人1人違う人生をアルバムによってナビゲートする事で「あなたは1人じゃないよ。」という感情のプレゼントをしていく事業。</p>
特定非営利活動法人碧いびわ湖	滋賀県近江八幡市	親同士の協力と信頼を育むコミュニティ拠点づくり	<p>今、「小さな子どもがいる家族」の多くは孤立のリスクを抱えています。特に「子どもは母親が育てるもの」という規範の中、「ワンオペ育児」「孤育て」などの言葉に象徴されるような状況下にある母親も少なくありません。その背景にはおそらく、核家族化、労働条件や所得水準の低下など、目に見える社会経済状況の変化と併せて、人びとが主体的に行動したり、他者と協力しあうことに対する、個人としての「経験の不足」と「心理的なハードル」、また人の群れとしての「規範の欠如」などの、目に見えない障害の発生があります。</p> <p>そこで本事業では、近江八幡市安土町内に、いつも決まった時間に開いていて、ふらっと子連れで行くことも出来て、居合わせた人々が互いに受容し合う規範のある「母親もホッとひと息つける居場所」を整備します。</p> <p>この居場所との出会いや、そこで出会う人びととの安心できる関係づくりをとおして、親が思うようにいかない子どもとの暮らしに揺れる自分のキモチを受け止められるようになり、また、周りにいる人びととの協力関係をきづき、自分にできるちょっとしたことで思わず行動しちゃう、そういう状況が形成されるようコミュニティ拠点を運営します。</p> <p>そして本事業終了時には、複数の家庭が共に暮らすコミュニティ住宅を構想することができる程にまで、人々の信頼関係が育まれている状況を目指します。</p>
お産&子育てを支える会	滋賀県東近江市	滋賀県におけるパースセンター開設へのチャレンジ!	<p>本事業計画は、お産&子育てを支える会が2019年から5年計画で事業展開しようとする第1期のキックオフ計画(2019年4月～2020年12月)¹を拡大し、再構築したものである。本計画の主な特徴は個人事業主として独立開業している助産師らが、活動拠点となるパースセンター“お産の家”(協同助産所)を開設し、母親らの脱・孤立をめざして主体的な出産や子育てができるよう、分娩取り扱い事業(ミッションA)、妊産婦への継続ケア事業(ミッションB)、主体的な出産・子育ての啓発事業(ミッションC.)、開業助産師の発掘・育成事業(ミッションD.)の4つの事業を展開する。</p>
一般社団法人無限	奈良県生駒市	誰も置き去りにしない社会を作る、小さな実験場	<p>誰も置きざりにしない社会をつくることを目指した小さな実験を試みるコミュニティ施設を建設する。このコミュニティには「仕事・暮らし・学び」を生み出す仕組みを内包しており、社会から取り残されて、生きづらさを抱えた人たちが自分の役割を見出し居場所を発見できる拠点にしていく。施設には食堂やランドリー、工房・加工場、福祉事業所、コワーキングスペース等多くの機能を有し、それらは生駒市内の誰でも活用することができる。生活に役立つ活動や学びの場、そして新しい仕事を創出していく仕組みを、まちづくり会社と協働しながら行う。目指すのは経済至上主義の価値観の中で切り捨てられてきた社会的弱者といわれる人たちが、実はこれからの社会を支える大きな役割を担っているということを実証していく取り組みだ。この小さな実験場で実証されたプロトタイプを、その後市内、県内そして日本中のモデルとなり、社会を変革していく最初の1歩としたい。</p>
特定非営利活動法人三島コミュニティ・アクションネットワーク	大阪府茨木市	「ひと・まち・元気」支援事業	<p>茨木市安威川東部地域とその周辺地域にある府営住宅及び市営住宅を中心とする、地域の顔の見えるネットワーク、社会資源を活用しながら、それぞれの住民生活に程よい支援関係を築き(巡回相談活動)、ちょっとしたおせっかい(安心ドアセンサーの設置)、そっと寄り添って(緊急時の一人ひとりの避難計画策定など)の見守りを支援する事業です。</p>
特定非営利活動法人市民活動サークルえん	奈良県生駒市	市民活動サポートセンターNARA開設	<p>社会課題の解決に取り組む様々な市民活動団体(以下、「団体」)をサポートするセンターを開設します。</p>

			<p>個々の団体の活動領域は幅広く、組織形態も多岐に渡りますが、多くの団体が人材・資金・情報・事務力などで悩みを抱えています。</p> <p>そこで、団体をサポートする中間支援センターを開設し、実務を中心としたサポートや、団体同士が出会い・つながり合える場を創出します。</p> <p>ここでは発達障がいなど生きづらさを抱えている若者たちが、本来は支援される側になるのですが、逆に団体を支援する側として、自分に出来ることを出来る範囲（時間）で働きます。</p> <p>自分が携わっている仕事が、社会課題の解決につながっているという事は、誇りであり、大きな自信にもつながることが期待されます。</p> <p>可能性を秘めた若者たちによって、団体が抱える課題が解消され、活動が活性化することで、社会課題の解決が促進されるという好循環を生み出していきます。</p>
NPO 法人 happiness	京都府京都市	青少年自立サポート支援事業	<p>「子ども食堂のその先」をテーマに 10 代後半～30 代までの若者へ向けた、様々な生活に必要な知識やつながりを作るための取組みを講座として企画し、若者生き方スクールとして実施する。メインターゲットとしては社会的養護を必要としている子どもや若者であるが、絞った形でのアプローチでは手が届きにくいことを想定し、窓口は広く対象年齢のみを参加条件とする。</p> <p>市民が利用できる社会制度や活用できるシステムに関する知識、頼りになる専門職や“頼る”ことができるネットワークとのつながりを提供します。</p> <p>【本事業により実施する取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FP による若者向け金融教育講座 ・社会保険労務士による労働教育講座 ・IT（契約ごとや SNS トラブルなど）に関してなんでも相談会 ・若者交流会としての大人食堂 ・若者のための職業トークイベント—20 代のハローワーク ・若者の労働や生活に関する相談と専門家へのコーディネート
株式会社 どこでも介護	滋賀県大津市	外出困難な高齢者を支える地域ネットワーク事業	<p>この事業は、元気な高齢者が 80 歳まで介護の人材として働ける環境を整え、外出困難な要介護高齢者をサポートし、双方の孤独を軽減することを目的にしている。当社は介護旅行会社であり、年間約 80 件の介護旅行サービスを実施している。その中で、お客様から日常生活の不安についてお聞きしてきたが、一番多かったのは、急な入院や外来受診などの際、付いて来てもらう人がいないという悩みであった。高齢になって車いすが必要になったり、歩行が不安定であると、外出を控えたり諦めたりしなければならない。さらに、閉じこもりがちな生活は心身の低下から認知症へと陥りやすい。そこで当事業は、1 年目に元気なシニアを介護人材として育成し、外出サポート事業を開始する。2 年目には閉じこもりがちな高齢者を募ってランチ会やミニツアーを開催し、お互いが地域で孤立せずつながれるよう、介護事業者や教育機関と連携しながら事業を継続するものである。</p>
NPO 法人京都自死・自殺相談センター	京都府京都市	テクノロジーを活用した若年層の自殺対策事業	<p>私たちは、テクノロジーを活用し、若年層の自殺の問題を解決する。当相談センターでは、自殺の問題の根底にあるのは、「死にたい私の気持ちは誰も分かってくれない」という孤独感であると考え。その孤独感を解決するために、2 つの制作物についての可能性を議論している。</p> <p>一つは、チャットボットを活用した相談ツールの開発。チャットボットとは、テキストや音声を通じて会話を自動的に行うプログラムである。二つ目の可能性は、対人支援の専門職ではない、いわゆる一般人の支援スキルを向上させるゲーム開発。「相談を受ける側」へスキルやマインドセットを伝授するゲームを開発し、生きづらさを</p>

			抱える人 のサポート体制をつくっていく。1 現段階において、テクノロジーを活用した制作物について、まだその方向性には余白 をもたせている。その理由は、このような議論やアイデアを我々だけに留めるのではなく、社会に問いかけるところから始めていきたい。
NPO 法人 コクレオの森	大阪府箕面市	安心して自分を表現し主体的に学べる子を育む事業	子どもたちが、対話や体験を重視した活動をすることで、自己肯定感を高め、社会課題に対して、自分ごととして関われる人に成長することを目指して、小学生を対象にしたプログラムと、子どもたちに直接関わる大人（教師・保護者）を支援するプログラムを実施します。
そらにじひめじ	兵庫県姫路市	社会的マイノリティのためのコミュニティスペースの継続的運営	現在、「コミュニティスペース そらにじひめじ」を運営しているが、継続的な運営のため、現在は利用者からの利用料に頼っているスペースの賃貸家賃、無償ボランティア運営となっているスタッフの給料等への支払いに助成金を利用させていただき、また規模拡大など新規事業にも利用する。 新規事業として、 1. DV 被害者や性的虐待被害者の緊急保護を目的とした一時保護シェルターの設置を目指していくが、当面はホテルの利用で緊急性がある人の受け入れを行う。 2. 社会的マイノリティの人が抱える問題についての講演会を年 3 回開催する。 3. 利用者のつながりを深めることと、より社会の問題について学べる機会として研修旅行を計画する。 4. 現状のスペースでは狭小となってきたため、より広い場所への移転もしくは拡充を行う。 5. 利用者の就労機会を目的としたコミュニティカフェの運営とスタッフの増員を行う。 6. 将来的に 24 時間体制のコミュニティハウスやワンストップセンターの設立。 7. 各地の諸団体との交流を目的としたイベントへの参加（東京レインボープライドなど）
特定非営利活動法人きらの木	奈良県奈良市	制度の狭間にある社会課題の解決をめざす	ひと昔前までの子育て環境は、両親のみならず祖父母や親戚あるいは近所の人など、世話を焼いてくれる人がたくさんいました。子育てで悩んでいるときは助言をもらえ、体調不良時も誰かが親代わりになって面倒みてくれる環境があり、地域ぐるみで子育てがなされていました。しかし近年、地域コミュニケーションが希薄になり、子育ての悩みに直面した時、誰にも相談できずその家族が地域から孤立し、一人で解決せざるを得ない、それらにより親の精神的・肉体的疲労が蓄積され結果的に負担となり子どもの虐待に発展することを危惧します。「子どもは地域で育てる」をスローガンに、子育て中の親が孤独から孤立に発展しないよう地域の中で相談や一時的に子育て支援ができ、誰もが気軽に子どもと一緒に訪れることができる施設を設置します。子育て世代が交流し、身体・心理的負担を軽減する居場所をつくり、親子に一時の休息を与える継続的事業を考えています。
ライフデザイン阪急阪神・iop 都市文化創造研究所 事業グループ	大阪府大阪市	定年前後の男性高齢者向け社会的孤立予防・地域豊饒化	(1) 対象となる男性高齢者のイメージ ・ 企業・団体等に在職中もしくは在職していた、概ね 60 歳以上の男性で、仕事中心の生活を送ってきたため、セカンドライフとしての趣味の活動や地域での活動などの準備ができていない状況で、定年を迎えようとする、もしくは迎えており、これから何かを始めたいと思うものの、地域とのつながりなどきっかけがないため、モヤモヤしている方々。 (2) 構成 ・ 先進事例や地域状況のリサーチ、キックオフイベント、活動プログラムの開発・実施とチームづくり、活躍の場の設定と担い手育成を行い、併せて、実務を通じた地域のつなぎ手としての若手人材を育成します。 ・ 上記を通じて、男性高齢者の社会的孤立の予防と地域豊饒化を実現します。

			<p>(3) 事業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦割り行政の問題点を克服し、「場所」・「人」・「ノウハウ」などの地域資源を有効に活用した、多様かつ新しい分野の関係者が参画・協働する事業であること。 既存の取組では抜け落ちていることが多い男性高齢者に着目し、介護・福祉領域での機能回復的なアプローチでなく、興味を惹くテーマ設定や地域の有名シェフからの手ほどきがあるなど、これまでにないワクワクするプログラム構成により、社会参加により、孤立を予防し、生きがいづくりを行う事業であること。 <p>参加した男性高齢者が、事業終了後も、地域で活躍できる場づくり、地縁団体等へのつながりをしっかり行うこと、事業を通じて、若手の地域人材も育成することで、地域を豊かにしていく事業であること。</p>
一般社団法人KYOTOGRA PHIE	京都府京都市	京都国際写真祭 KYOTOGRAPHIE ビジョン	<p>KYOTOGRAPHIE は、毎年春国際写真祭を開催することにより、人々があらゆる物語に出会い、社会が持つ疑問点に気づくような、プラットフォームを作ることを目指しています。</p> <p>KYOTOGRAPHIE は2020年度のテーマを“ビジョン (Vision)”とし、10のメインプログラムを通して、国内外の気鋭の作家による写真を展示し、現在スポットライトの当たっていない存在や事象、社会的状況などに光を当てていきます。そして展示を軸に、シンポジウムや映画上映会、ワークショップなど、参加者が真にオープンに話し合い、交流できる機会を設けます。</p> <p>これらの企画によって人々が、日本社会が今後進んで行くべき先を思い描いていくきっかけを作ることを目指します。中でも孤立という課題を抱えている視覚障害者、低所得層の独居高齢者について取り上げるメインプログラムを企画し、普段はそのことに関心を寄せていない方々の意識変革を目指します。</p>
特定非営利活動法人こどもソー シャルワークセンター	滋賀県大津市	生きづらさを抱える若者たちによ るアウトリーチ事業	<p>「居場所につなげるための深夜ネットアウトリーチ」</p> <p>貧困や虐待、いじめや不登校などの経験で昼夜逆転生活を体験したことのある（している）18歳から25歳までの若者をピア相談員として雇用し、22時から5時までネット上やゲーム上で孤立を抱えていると思われる近隣の若者に接触し、ゆるやかな関係性を作って本法人や関連団体の居場所活動につなげる活動。</p> <p>「校内居場所カフェ活動によるアウトリーチ」</p> <p>貧困や虐待、いじめや不登校などの経験者が多い定時制高校等にカフェ形式（お茶とお菓子の出る）の校内居場所カフェを開設する。ここでも中高校時代に何らかの孤立を抱える経験をした若者をピア相談員として雇用し、ピア相談員を間に入れる形で本法人や関連団体の居場所活動につなげる活動。</p> <p>それぞれの事業を担当するピア相談員には、ソーシャルワーカーなどの専門家をスーパーバイザーとしていつでも対応を代わられる体制を構築する。</p>
特定非営利活動法人あめんど	滋賀県大津市	一人前シェアリング	<p>今回「一人分の仕事を複数でよってたかってこなす」という新しい形の就労を実現します。これまでの就労支援の中で、彼らの特性を生かせる業務や時短業務を用意するなど、本人の力に合わせた就労の工夫が行われてきました。しかし、あくまで一つの仕事を一人で責任を負うことになり、不安で踏み出せない若者も多くいます。</p> <p>これまでの支援の中で、人とは関わりたくないと言っていた若者たちが、活力を回復する姿をみてきました。この中で、彼らなりに工夫し、こちらの指示がなくても誘い合って作業する様子が見られました。ある一人の若者に頼んだ作業を数名が協力してこなしたり、調理では「1人がレシピを読み、1人が野菜を置き、1人が切る」といった具合です。これらを形にし、彼らが社会参加し収入を得る一つのモデルを作ります。またこうした作業形態を試行できる場として、これまでの活動を企業化し、更には新たな就労形態として社会に広げていきます。</p>
特定非営利活動法人釜ヶ崎支援 機構	大阪府大阪市	多様な社会的孤立に対応できるヨ リドコ機能の構築	<p>社会的に孤立した若年層就労困難者向けに2つの居場所を提供する。一つ目はオンライン世界での居場所で、引きこもり状態や人とのコミュニケーションが得意でない層を対象にし、二つ目は実際の居場所（大阪市西成区あい</p>

			りん地域)で、外には出ることができるが、特定の頼れる存在がいない状態の人やオンラインの居場所を利用して いる層が一步踏み出した時の受皿となるような居場所をつくる。 オンラインヨリドコではネット上でのコミュニケーションの場を創出すると共に、就労支援や生活支援についての 必要で役立つ情報を提供し窮地から脱出できる機会を提供し、実在の居場所では利用者と共に社会とのつながりを 通じて自己有用感が高まるプログラムやイベントを実施する。オンラインから実在の居場所への導線づくりも行い、 社会参画の機会づくりも行う。また、必要に応じて当法人の既存事業である就労支援や生活支援も提供する。
株式会社 革靴をはいた猫	京都府京都市	総称で呼ばれる人々の「存在」を 確立するプロジェクト	「総称」で呼ばれることで生まれる孤立がある。 知的障害者、精神障害者、ひきこもり。 気づかぬうちに、家族や職場の人、そして自らも固定観念に囚われてしまう。 総称による決めつけは、挑戦や葛藤、失敗の機会を奪い、仕事や人間関係を制限する。 私達は、そうした制限から自信を喪失して〈存在が希薄化した人〉を見てきた。 本事業では、総称で呼ばれる人が「存在」を確立できるプロセスを創出する。 本人と出会い、ゆるやかに交流する時間を共有して、仲間と一緒に挑戦して「他者に貢献する経験」をしても らう。 ICTを含む各種ツールで本人の心理的な負担を下げる工夫をしつつ、失敗や葛藤の経験をもとに豊かな人生観を 育む「対話の場」を持つ。 孤立する人が「総称の枠を取っ払った関係性」の中で自分の存在を見つけ、職人の道の入口に立つ。 本人の家族や地域の事業主と協力してつくる「職人養成インキュベーター（孵化器）」が、啐啄の機を生み出す 仕掛けになる。
一般社団法人SPSラボ若年認 知症サポートセンターきずなや	奈良県奈良市	another family	ニッセイ基礎研究所の「長寿時代の孤立予防に関する総合研究報告書」では、ゆとり世代66万人、団塊 Jr. 105 万人、団塊世代33万人、75+世代36万人が、それぞれ社会的孤立が疑われる状態にある。孤立の原因は、繋がっ ている居場所の数が少ない。職場や家庭以外での社会との結びつきを感じられる居場所がないことである。 地域の現場では、孤立等の問題を様々な領域で考え、実践をしているが、行政の縦割りの仕組み等で対応をす ることになり、狭間問題・排除問題等がおきている。また、活動予算も専門家主体で申請する形が多く、当事者が 希望する内容ではないことがある。そのような現状の問題点から、多世代の当事者達が自ら必要とする場を、自分 達で1から創っていきける環境の場が必要だと考える。必要な場を創っていくプロセスの中で、人と出会い・役割を 持って、一步一步できることを増やし、達成していくことが、脱孤立につながると思っている。
地球ハートヴィレッジ	滋賀県東近江市	未来創造アカデミー みんなのフ リースクール	<u>不登校だけでないみんなのフリースクールを作る</u> グローバル経済の流れの中で逆流し失われる心の豊かさ、幸福度、進む孤立化。ひきこもらずとも生きていく上で 何に価値を見出して良いかわからない20代、30代が子育てをしている。将来の夢は無いと答える児童が過半数。 このまま孤立、ひきこもりは減るより増えるだろう。グローバル経済によって失われたものをとりもどし、日本人 としてのルーツや文化、精神性を大切にすることが課題解決に最も重要と考える。自然と人が融合した日本文化と 生きる知恵、愛によって互いの存在価値をひきのばす学びの場が望まれている。故に、地域から住民の全世代が参 加するフリースクールを作る計画を進める。日本の自然が豊かだった頃、人と人が繋り助け合う地域社会を生きる 世代が消えていこうとしている。この世代から学ぶ土台を作り、児童から中高年まで知恵を継承し、生きる力を取 り戻すことを目的とする。
一般社団法人ヒューマンワーク	大阪府大阪市	生きづらさを抱える子ども、ひき	大阪府守口市内で4ヵ所運営するこども食堂の運営と、そこからスタートする子ども・保護者・家庭支援。子

アソシエーション		こもり包括支援事業	<p>どもへの「食事・居場所の提供」だけではなく、こども食堂という場所を活用した「学習支援」。学習支援では「社会へ一人立ちした後に必要なキャリア形成支援」を重視した取り組みを行っています。</p> <p>また、子どもだけではなく「保護者同士の居場所づくり」、「生活相談」といった親世代を支援する場としても活用しています。子どもの主な対象者層は小学生から高校生にかけてですが、高校卒業後のきょうだいがひきこもり等の困難を抱えているケースもあり、広く「若年者」を対象とした支援の取り組みも行っています。</p> <p>当法人のミッションでもある、『ソーシャル・インクルージョンの理念に基づいた 就労支援セーフティネットの構築』を、子ども食堂を入口とした事業展開を行っています。</p>
株式会社 Re-birth	滋賀県大津市	若者の孤独と地方音過疎化の解消	<p>県内大学に通う学生の9割は他府県に就職し、若者の流出が問題となる中、就職活動では自分を偽ったことがある学生は8割に上り、自分をより良く見せることに終始していることが分かります。しかし「対話」による就活イベントを開催したところ、学生たちはひとりの人間として見てもらえたことに喜び、就職やインターンシップに多く繋がりました。</p> <p>一方で、障害特性のある若者が、サポートを含め他者と関わることで、自ら課題を乗り越えていく姿を目の当たりにしました。今ではその当事者は弊社のスタッフとして活躍しています。つまり、人は他者と関わり繋がることで「育つ」のです。</p> <p>この事業は、様々なイベントやインターンシップを軸に、「関わり合い」「対話」の中から様々な特性や価値観を認め合い、互いに「共感」が生まれることで個の孤独を解消し地域の一員として、自分を生きることが出来る社会づくり（他地域で応用可能な滋賀モデル）を目指します。</p>
株式会社 Peace Festa	大阪府大阪市	子どもの情報発信基地 子ども放送局	<p>本事業のコアターゲットであるひとり親家庭は、「親が安定した収入を得る」ことが急務と言われる一方で「貧困の連鎖」が声高に叫ばれがちである。</p> <p>しかし近年 Youtuber や中学生社長など、キャリアの多様性・若年化が進みつつも、不登校者率の増加もあること周知の事実である。</p> <p>本事業は、ひとり親家庭＝「親が」収入を得なければならない、という概念を覆す取り組みであり、キャンプやビデオ通話での交流を通じ、「放送局」の名の通り、子どもが興味関心があるプロの大人や働き方に対しての取材（企画会議から動画編集、報道まで）全て子どもが主体的に行うものである。</p> <p>その過程で、画像・動画編集、取材を通じ、具体的な対話力とデジタルスキルを身につけながら、年齢関係なくプロになる子どもを輩出し、貧困の連鎖を「親子で」解決する子どもを育成することを主眼とする「稼げるフリースクール」である。</p> <p>協力者として、経営塾の経営者達、テレビ局がある（密着取材中）。</p>
ダイバーシティサッカー協会	大阪府大阪市	スポーツによる居場所・セーフティネット作り応援事業	<p>ホームレス、うつ病をはじめとした精神障害、知的障害、LGBTQ、移民や難民、ギャンブルや薬物の依存症、不登校やひきこもりの経験者など、様々な社会的不利・困難を抱える人々（以下当事者）の健康の増進、精神的な満足感や安心感の獲得、そして社会的なつながりの構築を目的に、サッカーをはじめとしたスポーツ活動を推進し、新たな居場所やセーフティネットの構築を応援する。</p> <p>具体的には、当事者を対象にした場づくりを行う「ソーシャルスポーツコーチ」の講習会を実施し、担い手を育成。それぞれのコーチが中心となり、当事者が定期的に集う「スポーツ交流サロン」の開催を応援する。また、そうした日常的な活動の目標として、当事者やその支援者が一堂に集うフットサル大会「ダイバーシティカップ」を開催するとともに、スポーツを通じた場づくりの事例を調査し、市民シンポジウムで報告、広く社会に発信する。</p>
特定非営利活動法人ふろぼのく	和歌山県新宮市	熊野に暮らす生きずらさを抱える	和歌山県東牟婁郡から三重県南牟婁郡までの県境を越えた「熊野圏域」は、行政の地理的な分断、市と県の連

まの		若者の調査とアウトリーチの事業化	携不足、福祉と医療、教育、産業それぞれの連携不足という多重に課題が重なっている状況のため、不登校やひきこもり、各種障がいを抱えるなど、さまざまな観点で「生きづらさ」を抱えてしまった若者が数多くいる。そこで、まずこの圏域の「生きづらさ」を抱える若者の実態調査を進め、その総数や状況を定量的、定性的に調査したい。各自治体や地域団体、医療機関、教育機関など数多くの団体との連携を進めたうえで、調査報告をまとめる。そのうえで、彼ら/彼女ら、そしてそのご家族の支援を進めるための、不登校やひきこもりに特化したアウトリーチ型の訪問サービスの事業化を検討する。助成期間終了後も継続した支援ができるようなサービスの構築を目指す。
公益社団法人 青年海外協力協会	長野県駒ヶ根市	近所付き合いの創出と地域資源の発掘	<p>下町に暮らす多様な住民が、孤立気味な人々や、頼りになる人が身近にいない地域住民に対し、生活のなかで「できること」「してほしいこと」を提供し合い、関係を築く場を作る。多世代・多文化・多様な個性をもった人同士による日常と地域コミュニティの活性化につなげる。</p> <p>空き家を活用し、誰でも使える居場所機能を持ち、住民間の接点とかかわりの場となる“よろず拠点”とすべく、地域の住民による日曜大工で造成を行う。その過程で、住民がそれぞれ得意なことを提示する「〇〇できます住民」となり、困りごとや、頼りたいことがある「〇〇してほしい住民」とマッチングする。</p> <p>役割があるという生きがい。頼れる人がいる暮らしの安心感。よろず拠点を通して地域住民の疎外感を払しょくし、“近所付き合い”と、本来のコミュニティの姿である「ごちゃまぜ」が日常的にある地域を作る。</p> <p>なお、本計画段階から、摂津市の協力を得ており、引き続き連携を行う。</p>
特定非営利活動法人 Peer 心理教育サポートネットワーク	和歌山県和歌山市	若者の「脱・孤立」に向けた早期支援基盤の強化	<p>近年、小中学生の不登校児童数は最高値を更新し続け、さらに高校の中途退学者も増加している。内閣府調査(2016)によると、若者のひきこもりは約54.1万人と推計されおり、ひきこもりの高齢化も問題となっている。ひきこもりの長期化を予防する上で、早期支援の重要性が言われている。ひきこもりに至る精神疾患として発達障がいがある場合が少なからずあり(近藤他、2010)、発達障がいがある不登校・ひきこもりの児童・青年はその特性から、特性に応じた個別の配慮が不可欠である。当地域では特別支援学校の児童または低学年の児童がサービス対象であるところが多く、一般校に通う軽度発達障がいの中高生のニーズと合致した事業所が少ないのが課題である。</p> <p>以上のことから、発達障がいがある児童を対象とし、「脱・孤立」に向けた早期支援基盤の強化を助成金事業として行う。事業内容としては、①利用者の特性及びニーズ把握②ひきこもり予防のための居場所支援③学校復帰・進学に向けた学習支援等④学校・家庭等との連携⑤事業評価(質的・量的データの分析)⑥地域への発信(地域フォーラムの開催)である。</p> <p>なお、支援場所は和歌山市、近辺の市町村各所からの交通の利便性が良い JR 和歌山駅近辺の当 N P O 法人事業所を活用する。</p>
特定非営利活動法人ニュートラル	京都府福知山市	ひきこもる若者と社会を繋ぐ中間就労事業の運営	<p>対人不安の為に社会から一旦ひきこもった人々が、社会的居場所でエネルギーを蓄えてから社会に復帰するために必要なスモールステップの中間就労事業を計画している。内容は、ステップ①：慣れた社会的居場所の中で目標に向かって作業をする経験。ステップ②：居場所から外に出て理解のある外の人と一緒に働く経験である。</p> <p>ステップ①は、綾部市の黒谷和紙協同組合から受注している和紙型染の内職で、現在4~5人で月4日間当団体の居場所にて作業を行っている。これを拡大し、より多くのメンバーが納品という目標に向け、創意工夫し作業する力を育成したい。ステップ②は、福知山市瘤木の特産品である「はななみぶどう」栽培作業である。慣れた場から外に出て、外部の人と協働する必要がある。対人不安による緊張を乗り越えて社会性を、そして継続して作業に参加する持久力をつけ、社会復帰につなげたい。</p>